

科目区分	専門分野	履修学年	1年後期	単位数	1	時間数	15
科目名	看護過程 I			担当教員	専任教員		
使用 テキスト	1) ゴードン博士の看護診断アセスメント指針 よくわかる機能的健康パターン 2) メディカ出版 ②基礎看護学 基礎看護技術 I 3) メディカ出版 ②基礎看護学 基礎看護技術 II 4) 日本看護協会出版会 ヴァージニア・ヘンダーソン 看護の基本となるもの						
テキスト 以外の教 材・参考 書等	1) ヌーベル・ヒロカワ 看護過程を使ったヘンダーソン看護論の実践 2) 照林社 実習記録の書き方がわかる看護過程展開ガイド ヘンダーソン、ゴードン、NANDAの枠組みによる 看護学生必修シリーズ 3) 医学書院 系統看護学講座 基礎看護学② 基礎看護学技術 I						
授業の概要及び到達目標							
<p><u>授業の概要</u></p> <p>看護は実践の科学である。本校の「看護」の主要概念に「対象の健康上の問題に対し、また、対象の健康の保持及び予測される問題に対し、科学的根拠に基づく専門的知識・技術を使い、日常生活援助・教育・指導・相談・調整を行う」と掲げている。このための、初期段階として看護理論を用いた看護過程を展開する技術を学ぶ。看護概論や基礎看護技術の学習を踏まえ、系統的プロセスを用いて看護の展開ができるよう、看護を実践する上で必要な看護過程の基礎知識を学び、問題解決思考に基づいた看護過程の方法について理解できるようにする。看護過程Ⅱで学ぶ看護過程の展開につなげる。</p> <p><u>到達目標</u></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 看護過程の意義について理解できる。</li> <li>2. 看護過程の構成要素について理解できる。</li> <li>3. 看護過程を展開する際に基盤となる考え方について理解できる。</li> <li>4. 看護過程の各段階について理解できる。</li> <li>5. 看護記録について理解できる。</li> </ol>							
評価方法	筆記試験						
備考	関連科目：論理学, 教育学, 基礎看護概論						

回数	授業計画 学習内容	備考
1	看護過程とは 看護過程の定義と意義 看護過程を構成するために必要な看護師の能力 看護過程とは 構成要素と構成要素の関係性	
2	看護過程を展開する際に基盤となる考え方 問題解決過程 クリティカルシンキング 倫理的配慮と価値判断 リフレクション	
3	看護過程の各段階 アセスメント 情報収集、情報の分析・解釈	
4	看護問題の明確化 看護診断 全体像の把握	
5	看護計画 優先順位の決定 看護目標（看護の方向性）の決定、 RUMBA の法則 解決策（具体策）の決定 5W1H 観察計画、援助計画、教育・指導計画	
6	実施・評価 実施時の注意事項 実施後の記録・報告（POS による記録） 評価の視点とプロセス 看護計画の再査定	
7	看護記録 看護記録とは 記載・管理の注意点 看護記録の構成	
8	終講試験 まとめ解説	